

AI/SUM & TRAN/SUM、CEATEC と連携 10月開催、オンラインイベントも実施

日本経済新聞社は人工知能（AI）と交通・移動技術をテーマにしたグローバルイベント「AI/SUM & TRAN/SUM」を10月19～22日、東京・日本橋のライフサイエンスハブ、日本橋三井ホール（東京都中央区）で開催します。本イベントは同時期（10月20～23日）にオンライン開催するサイバー・フィジカル・システム（CPS）とIoTをテーマとするアジア最大級の国際総合展であるCEATEC（主催：CEATEC 実施協議会）と初めて連携、イベント名も「AI/SUM & TRAN/SUM with CEATEC 2020」とし、相互でシンポジウムやカンファレンスなど様々な形で協力していきます。登壇者ならびに連携内容につきましては、決定次第改めて発表します。

来場者を招いて会場で行われるリアルプログラムは新型コロナウイルス対策を万全にし、一方会場に足を運ばない登壇者や視聴者のため、イベントの前後に実施する双方向型を含めたオンラインプログラムも組み込む新しい形のイベントを目指します。人との密な交流や地域間移動が大幅に制限される「新常态（the New Normal ニューノーマル）」と呼ぶ状況の中で開催されるAI/SUM & TRAN/SUM with CEATEC 2020は、国内外の英知を広く結集し、「人に寄り添うテクノロジーのあり方を追求する」をテーマとしたイベントにいたします。

<イベント概要>

名称：AI/SUM & TRAN/SUM with CEATEC 2020

主催：日本経済新聞社

特別協賛：三井不動産

協力：CEATEC 実施協議会

日時：2020年10月19日(月)・20日(火)・21日(水)・22日(木)

会場：日本橋ライフサイエンスハブ、日本橋三井ホール

内容：シンポジウム、ワークショップ、ピッチコンテスト、オンラインプログラム

チケット：一般50,000円、学術・公務、スタートアップ20,000円、学生無料

※新型コロナウイルスの感染情勢によって条件その他変更の可能性があります。

詳細および最新スケジュール：<https://www.aisum.jp/>

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の発行部数は現在約223万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は83万で、有料・無料登録を合わせた会員数は400万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 TEL:(03)3270-0251 (代表) AI/SUM 事務局 e-mail: info@aisum.jp